

発行日 2016年3月24日  
発行人 通教卒業生支部代表平川忠勝

## 経済学部同窓会通教卒業生支部通信 No. 12

### 1 経済学部同窓会への入会のお誘い

中村寿徳（経済学部同窓会常任幹事・通教支部役員）

今年も卒業式の時期となりました。新卒業生の皆様の御卒業を心からお祝いいたします。

私達、法政大学経済学部同窓会通教支部は、通教卒生を中心に経済学部同窓会の有志らにより結成されてから、卒業生、特に通教卒業生の親睦を図る活動の一環として会報の発行を行い、今回で第12号を発行する事となりました。そして、こうして支部報を皆様にお届けする事が出来た事を大変嬉しく思います。また、支部として今後も通教卒業生の親睦と連絡・交流の一助と成ります様に心掛けたい旨をここに記させていただきます。

経済学部同窓会通教支部は、母体である経済学部同窓会への皆様の参加を期待しています。私個人の話で恐縮ではありますが、経済学部同窓会に参加した当初は「通信教育出身者は少数で、心細いのではなかろうか」とも思いましたが、これは杞憂でした。経済学部同窓会は開かれた集まりで、昼間、夜間、通信の出身別を問わず、みんな仲良くやっていますし、通教支部を作って通教卒業生のサポートにも努めています。また、それだけではなく「会友」として他学部卒の皆様の参加も歓迎しているのが、法政大学経済学部同窓会です。

「同窓会って何をするとところ?」と聞かれたりする事もあります。経済学部同窓会の活動については、同窓会ホームページをご覧になれば、お分かりいただけると思いますが、端的に言えば、卒業生相互の親睦と交流を目的とした集まりです。何をするかは、私達参加者自身が決め、それを自分達で実施しています。例えば、一昨年末には外国

の大使を招いた懇親会を同窓会では実施しました。

法政大学経済学部同窓会は、卒業生の活躍を応援し、そしてまた、個人では出来ない事を仲間達とともに推し進めるサポートをします。新しく卒業された皆様にもぜひ参加してほしいと思いますし、後進をサポートする仲間になってほしいと願っています。

最後に、改めて皆様方の経済学部同窓会への参加をお願いします。（入会の申し込みは、法政大学経済学部同窓会ホームページから簡単にできるようになっています。ぜひご利用下さい。）また経済学部同窓会のホームページ(<http://www.hoseikeiyukai.jp/>)にも通教支部コーナーがありますので、こちらも是非ご覧頂き、投稿をお願いします。

#### 【原稿等送り先】

法政大学経済学部同窓会事務局

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

TEL./FAX. 042-783-2550

（出勤日：火・水・木 9時～16時）

【原稿締切り】毎年3月、7月、11月の10日ごろです。

※原稿をお送りいただいた後に、編集の都合上、データでお願いすることもありますのであらかじめご了承ください。またホームページへの投稿は、同じ扱いで常時受け付けます。

## 2 北海道の川南さんの同窓会への問題提起と対応

（昨年の経済学部同窓会会報第64号紙への会員短信に通教生の川南卓也さんからの投稿が掲載されました。経済学部同窓会通教支部として重要な問題提起を含んでいましたので、投稿を転載して、同窓会通教支部として問題提起に伝えてみたいと思います。編集部）

「悩まされる学生会の役員人事」川南卓也（通教4年生）岩見沢市  
「通信課程の地域学生会でもっともアタマを悩ますのが新年度の役員人事問題です。ほぼ毎年、学生会が休止しかねないほど後継者選びが難航しております。

近年の通信課程は3年次編入の入学率が増加していることもあり、卒業間際の学生が学生会の役員を一時凌ぎで引き受けているのが実情です。ようやく、人選問題が解決したとしても、数カ月後には人選問題で困難に遭遇するといった状況を繰り返しております。

先日、（同窓会から一編集者注）送られてきた卒業祝賀会の支援寄付に関す

る案内文の中で、『卒業祝賀会にて学生の代表を表彰する』と書かれていたが、このような規定を設けていただきますと学生会の次期役員選出に好影響をもたらすと思います。通教課程の学生担当事務課と同窓会とが連携して実施されますことに、期待します。」

### 川南さんの問題提起に対する同窓会通教支部のお答え

札幌の通教生川南卓也さんからの問題提起、有難うございました。経済学部同窓会では、川南さんの問題提起を受け止めて、役員会で度々議論して、経済学部教授会とも相談にして以下のような意見をまとめました。

経済学部同窓会は、これまで経済学部の通教部卒業生と一般の学部卒業生とを平等に扱うようにしてきました。

ところが、昨年、経済学部同窓会の総会で、80歳になった先輩卒業生を表彰した際に、通教卒業生が外れていたと会員から指摘があり、遅ればせながら、遅れて表彰の記念品を贈らせてもらうという一件が起きました。

実は、経済学部同窓会入会申込書には、卒年だけで年齢の記入項目がなかったため、同窓会事務局で、80歳以上の同窓生を確認することが、通教卒業生会員の場できなかつたという事情が分かりました。

同窓会事務局は、さっそく通教卒業生に年齢調査をおこない、ほぼ全員の年齢を確認しました。

川南さんが提案されている「卒業祝賀会にて学生会の代表などを表彰」しているのなら、通教の学生会の代表も表彰してはどうか、という提案でしたが、この問題は、簡単にそうしましょうとお答えできない事情があります。

経済学部には教授会の公認団体として学生会というものがあり、学生のディベート大会やゼミの研究発表大会などを教授会の支援のもとで行ってきています。

しかし通教の学生会は、大学から公認されていても、経済学部教授会が直接関与していない組織であるだけでなく、経済学部だけでなく、他学部の学生も参加している組織なので、経済学部の学生会と本質的に異なっています。したがって、経済学部同窓会は、教授会に推薦してもらって学生会の代表を卒業祝賀会で表彰するシステムを、通教の学生会の場合に当てはめることが無理であると考えています。

その他、同窓会には、公認会計士とか税理士などの難関試験合格者を表彰していますが、もちろん通教卒業生がそうした難関試験合格があれば、特別に表彰することにしています。

ただし、成績優秀者の表彰というものがありますが、これもちょっと厄介な

事情があって、目下、通教卒業生の場合には行ってきておりません。

というのは、経済学部通教部は、経済学科と商業学科に分かれていて、経済学部教授会の管理下にあります。しかし教学的には、商業学科の場合は、教員人事権、カリキュラム編成権、卒業認定などは、経営学部教授会にあります。

どうしてそうなったかは、長い歴史的な事情があります。経営学部は、1959年に経済学部商業学科の教員を中心に設立されましたが、その後、経済学部通教部の商業学科を経営学部に移転されないまま、今日にいたりました。しかし両教授会が話し合い、通教商業学科は、経済学部に残されたまま、教員人事権、カリキュラム編成権、卒業認定だけを、経営学部教授会に移しました。

経済学同窓会としては、経済学部商業学科の卒業生は経済学同窓会で受け入れるようにしてきました。そうした事情があって、商業学科の成績優秀者の表彰を経済学教授会に推薦してもらうことができません。しかし将来的には、経済、経営両教授会の協力を得て、商業学科の成績優秀者の表彰をおこないことができるように努力していきたいと考えています。

また商業学科の卒業生は、経営学部同窓会が引き受けるべきかどうかも経済学部同窓会と経営学部同窓会とで協議していかなければならないと考えています。（ホームページ編集部）

### 3 通教卒業生から村串先生の傘寿を祝うメッセージ

#### — 『村串ゼミ35年のあゆみ』誌より転載—

（昨年10月2日に長い間経済学部通教生のために『社会政策』を担当し、法政卒のOBとして経済学部同窓会に参加し、通教支部の顧問であり、通教生に人気の高かった村串仁三郎教授が80歳の傘寿を祝う会が開催され、その際に『村串ゼミ35年のあゆみ』誌が配布された。

その『ゼミ』誌には、村串ゼミ生ではないが、先生と関係の強かった通教卒業生からお祝いの言葉が掲載されている。「よき師よき友」を偲ばせる文書を紹介する。編集部）

#### 大川成一（1978年通教卒）

「村串先生の思い出」

1974年から法政大学（通信教育課程）で学んで、特に学恩を感じる先生が二人いる。最初は史学科であったが、一般教養で大内兵衛先生の「経済学」を学ぶうちに経済学に興味をもち経済学部に移部した。もう一人の先生は、「社会政策」での村串仁三郎先生である。

「社会政策」でのレポートの講評は「散文風でレポートとしては不十分」と厳

しかつたが、学問に対する真摯な姿勢を追求されているように思われた。さらに、卒業論文では指導をしていただいた。拙稿のタイトルは「現代に生きる窮乏化法則への一考察」ということで、貧困の現代的解明ということであった。

書簡でやり取りをしたが、根源的な経済問題なので参考文献や具体的な助言が指針になった。単に貧困を「貧乏暮らし」という矮小化したことにするのではなく、社会制度での関連で考察し、具体的な分析が必要という視点で展開した。その中でも、当時の国民生活白書〈昭和52年版〉を取り上げたことを評価していただいた記憶がある。少なくとも、当時の「総中流意識」という表層的な面に惑わされずに、大げさに言えば窮乏化という意識はどこから派生するかというテーマでもあった。

今では、窮乏化と格差が連動して深刻化しているという問題意識をもっている。

最近では、村申先生とは経済学部同窓会での総会でお会いできる機会がある。これからもご指導をと願うものである。

### 古谷昇（2008年通教卒）

「村申先生との出会い」

村申先生の傘寿を心よりお慶び申し上げます。そして、これからも益々お元気でご活躍されますことをご祈念申し上げます。

さて、私が村申先生のお名前を最初に耳にしてから、そろそろ10年の歳月が経とうとしています。当時私は、母校で通教生として学んでいましたが、ある日「村申先生の(卒論)指導を受けられるのは今年が最後」という主旨の会話が聞こえてきました。通常、こうしたことが話題に上るのは、その先生が日頃から学生たちに慕われている証拠であると思い、早速、先生の卒論一般指導に出席することにしました。場所は確か62年館(現:市ヶ谷田町校舎)1階の某教室であったと記憶しています。当時のスクーリング会場は、主にこの建物(俗称:通教館)が使用されており、通教事務局もここにありました。この時が先生と私との最初の出会いであったのです。勿論、先生は一聴講生である私のことなど当然ご存知ないのですが……。

その後、先生と直接お話しさせて頂けるようになったのは、卒業して経済学部同窓会に入会してからのことでした。それは丁度、先生のご尽力によって経済学部同窓会の中に通教支部が発足した2008年初夏の頃でありました。爾来、先生には同窓会での様々な会合やホームページ部会などを通して、色々と懇意にして頂き、ご指導を頂戴し今日に至っております。村申先生、今後ともよろしくお願い致します。

### 三木谷英男（2008年通教卒）

「地獄に仏」

私と先生との出会いは、一言で云えば「地獄に仏」の出会いであります。といいま

すのも私は会社相手の裁判を起こすという事情により、長い期間学業の中断を余儀なくされ、卒業を半ば諦めていました。ようやく定年の明くる年に28年に及ぶ争議も勝利和解して終了したのですが、通教の方はやり残しが気懸かりでした。早速大学に駄ロモトで打診しましたところ、復学がかなうことに。しかし、喜んだものの私が取得していたのは100単位程度、あと24単位が残っており、なかんずく卒論の4単位は大きな難関として立ちはだかっていたのです。私は卒論のテーマにわが裁判闘争を「少数派の労働運動」として捉え、「電力における少数派の労働運動とそこからの提言」とすることに決めていました。しかし、当時の指導教授に「プロパガンダに過ぎない」と一蹴されました。自分の足跡を否定されたような、とりつく島もない気持ちにさせられました。

そういう絶望の淵にあったとき「ネット」検索で村串先生に出会ったのです。先生は既に定年退職され、市民運動に関わっておられました。そのことに親しみと力強さを感じ藁をも掴む思いで連絡をとり窮状を訴えました。すると快く応じていただき、自分は指導教授になれないが、すでに総長であった友人の増田先生を指導教卒業授与式の会場にて、左が筆者 授に頼んでやると言っていたいただきました。天にも昇る心地がしたのは忘れられません。まさに地獄に仏の感でした。

以来原稿を「ネット」でやりとりすること半年余、先生のご指導により完成に漕ぎつけられました。望外の喜びであります。今回先生の傘寿のお祝いと共に改めて御礼を申し上げます。省みますれば60年安保の年、22才の若者が将来の生き方に迷って法政大通教の門を叩き、行李を抱えて夜行列車で東京へスクーリングに出かけました。以来仕事と学業と裁判の三股の生活を続ける一方、先の中断もありました。足かけ48年なんとか無事卒業できました。さらに偶然にも今年小生も喜寿を迎えました。つくづく波乱に満ちた半生だったと回顧しています。

## 4 2016年度の通教支部活動計画

### 1、箱根駅伝の予選会応援と新春箱根駅伝応援

本年は、2年ぶりで予選会を突破して本戦に出場できましたが、残念ながらまたシード権をうしない、10月の予選会を戦うことになりました。でも今年10月、立川市の昭和公園で予選会がありますので、法政の幟のもと同窓会一同で応援をおこないます。

### 2、通教支部総会

昨年も予定していた同窓会通教支部の総会を開催できませんでした。今年こそ、ぜひ7、8月に通教支部総会を開きたいと思えます。

### 3、通教卒業祝賀会で入会勧誘

毎年3月24日の卒業式の通教生卒業祝賀会に同窓会入会勧誘活動をおこなってきましたが、本年もこれを行なうと同時に、来年も継続していくようにします。

集合場所 ホテルメトロポリタン・エドモンド2階通教卒業式会場

集合時間 11時30分

#### 4、春秋の六大学野球応援

去年は、デング熱が流行し、神宮周辺の蚊が危ないと神宮球場での六大学野球観戦は中止しました。今年は、デング熱が流行の危険がなければ、早稲田戦（第2試合のある日曜）を観戦しています。今春のリーグ戦でも12時半頃に内野席の法政大学側入口に集まって母校の応援をしましょう（日程は同窓会ホームページでお知らせします）。試合後は、勝っても負けても飲み会で大いに氣勢を上げましょう。

いつも数名しか集まりませんが、ゆくゆくは、数十名は集まって、法政を応援しましょう。

#### 5、同窓会定期総会／懇親会へのお誘い

今年は6月？日に経済学部同窓会の総会が開かれます。後半は懇親会です。これに参加し、同窓会の活動や母校の近況を知るよい機会とし、よき師よき友が集い、そして語り合いましょう。通教支部のコーナーを作りますので、ぜひご参加ください。

#### 6、11月29日開催の忘年パーティへのお誘い

毎年11月末か12月初め日に経済学部同窓会の忘年パーティが行なわれます。今年は11月29日午後。場所は市ヶ谷キャンパス、富士見坂校舎通一階生協食堂です。通教支部のテーブルを用意して皆さんをお待ちしています。

通教支部へのお問い合わせ、連絡は、法政大学経済学部同窓会事務局へ、または、事務局員村串仁三郎 電話0471-52-8952 へお願いします。

### 資料

#### 同窓会通信教育部卒業生支部の設立趣旨書

2008年7月6日

法政大学経済学部同窓会通信教育部の卒業生有志が話し合って、同窓会通信教育部卒業生支部を設立することになった。

私達は、経済学部同窓会通信教育部卒業生は、次のような活動を考え  
ています。

- 1 ばらばらになっている通信教育部卒業生を組織化して、相互  
の交流と親睦をはかり、通信教育部卒業生同士のよしみを持っ  
て、お互いに助け合う。
- 2 法政大学卒業生として法政大学ひいては経済学部、経済学部  
通信部の発展ために幾許かの貢献をする。
- 3 経済学部同窓会が企画するさまざまな活動に積極的に参加  
する。とくに経済学部同窓会ホームページを通じて交流をはかり、お  
互いを高めあう。
- 4 多くの経済学部通信教育部卒業生を経済学部同窓会に組織し、同  
窓会通信教育部卒業生支部を強化し、同窓会の目的をはかっていく。
- 5 毎年3月の卒業式と祝賀会に有志が出席し、会員獲得の呼びかけ  
をおこない、会員拡大をはかる。
- 6 毎年8月の通信教育部夏スクーリングの時期に、経済学部教授会  
の後援をえて、経済学部通信教育部卒業生のホームカミングデーを  
開催し、お互いに旧交を温め合い、先生方と親交を深める。
- 7 各地に支部の支部をつくって、経済学部通信教育部卒業生の交流  
をはかる。

## 経済学部同窓会通信教育部卒業生支部の規約

2008年7月6日制定

- 1 本会は、趣意書にある活動をおこなうことを目的とする。
- 2 役員として、会長1名、副会長数名、幹事10数名、会計1名、顧  
問を置く。
- 3 適時役員会を開く。とくに在京役員会を重視する。
- 4 会費の徴収はとくに規定しない。
- 5 支部会員の交流は、eメールを通じておこなう。
- 6 総会は、8月のホームカミングデーにおこなうようにする。
- 7 本会は、地方会員が多いので、会の運営はボランティア精神をもっ  
て、穏やかにおこなう。